

(第3種郵便物認可)

# 英語で

# おもてなしを

## 外国客増 永平寺町 商業者ら実践講座



外国人観光客へのもてなし力アップへ開かれた英会話講座  
21日夜、永平寺町商工会館

外国人観光客が増えている永平寺町で、商業者、観光業者の英語の「おもてなし力」を向上させようと英会話教室が始まった。接客シーンを想定した実践的な講座で、冬の最終講座では外国人と食事を開き、習得した英会話が通用するか試してもらった。(宮本幸直)

インバウンド(訪日外国人)需要を取り込もうと町商工会青年部が初めて企画した。21日夜、町商工会館で本格的に講座がスタートした。

町によると、大本山永平寺の外国人観光客数は2015年に1万754人、16年には1万1283人と増加傾向。今年(1~4月末)は既に昨年の6割に当たる6851人に達し「特にZEN(禅)文化に関心のある欧米の外国人が増えている(町商工観光課)。

講座は中学校で学習する程度の語彙、表現を使った初級者向け。商業者

初回は「小売業編」で、店員が直面する接客場面やお金のやりとりを集中的に行なった。

英会話講師の玉城美利香さん(福井市)と、同市内で服飾店を経営するフランク・ラバゴさん(米グアム出身)が指導に当たり、来店した外国人に洋服を試着して買ってもらうまでを受講生同士がロールプレイング形式で体験した。

参加した鈴木崇美さん

(49) 東古市は「町に住む外国人も増え、来店していただいた経験もある。これから英語で対応できたら」と話していた。

講座は月1回。9月25日に引き続き小売業編を開き、まちなか編(10月23日)、観光地編(11月27日)の後、12月に外国人との食事で腕試ししてもらおう。途中からの参加も可。申し込みは町商工会 ☎0776(61)0456。

## 商工会青年部 禅人気「取り込む」



協定を締結し握手する  
と渡邊頭取 22日、坂井